



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4572 URL http://www.carnabio.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)相川 法男 (TEL)078-302-7075  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	127	△19.5	△115	—	△114	—	△116	—
23年12月期第1四半期	158	△2.9	△65	—	△64	—	△80	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 △90百万円(—%) 23年12月期第1四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年12月期第1四半期	円 銭 △1,992 44	円 銭 —
23年12月期第1四半期	円 銭 △1,374 74	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,224	928	75.8
23年12月期	1,317	1,019	77.4

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 928百万円 23年12月期 1,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年12月期	—				
24年12月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	327	4.9	△221	—	△204	—	△209	—	△3,575 25
通期	840	41.8	△275	—	△259	—	△266	—	△4,538 07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年12月期 1 Q	58,710株	23年12月期	58,710株
24年12月期 1 Q	—株	23年12月期	—株
24年12月期 1 Q	58,710株	23年12月期 1 Q	58,710株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の財政危機問題に端を発する信用不安が継続するとともに、新興国の経済成長が鈍化するなかで、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、医療制度改革やジェネリック医薬品への代替が着実に進行する中、大手製薬企業における収益悪化の懸念が、新薬候補パイプラインの導入ステージの早期化やバイオベンチャー等の買収となって現れてきております。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、創薬支援事業におきましては、既存顧客からの継続的受注の確保、新規顧客及び過去に取引のあった顧客へのアプローチ、並びにバルクタンパク質の供給メーカーとしての地位を確たるものにするためのOEM供給体制の確立等の諸施策を講じてまいりました。また、創薬事業におきましては、キナーゼを標的とした創薬研究を精力的に進めてまいりました。特に重点疾患領域と位置づけているガン領域では、独立行政法人国立がん研究センター及びSBIバイオテック株式会社との共同研究において、引き続きステージアップを目指して共同研究に取り組んでいます。さらに、新しくHTS（ハイスループットスクリーニング）で見出された有力なヒット化合物を有するキナーゼE（対象疾患：ガン、リウマチ）のテーマについては、化学分野を中心に重点的にリソースを配分してリード化合物の最適化研究を進めています。加えてアルツハイマー病等の神経変性疾患を治療する画期的な薬剤の開発を目指して、株式会社キノファーマとも順調に共同研究を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は127百万円（前年同四半期比19.5%減）、営業損失は115百万円（前年同四半期は65百万円の損失）、経常損失114百万円（前年同四半期は64百万円の損失）、四半期純損失116百万円（前年同四半期は80百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

#### ①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は127百万円（前年同四半期比15.7%減）、営業利益は0百万円（前年同四半期比98.7%減）となりました。売上高の内訳は、キナーゼタンパク質の販売55百万円（前年同四半期比20.5%減）、アッセイ開発7百万円（前年同四半期比28.6%減）、プロファイリング・スクリーニングサービス48百万円（前年同四半期比29.2%減）、その他は15百万円（前年同四半期比880.9%増）であります。

#### ②創薬事業

当第1四半期連結累計期間の創薬事業において、売上高の計上はなく（前年同四半期は7百万円）、営業損失は115百万円（前年同四半期は103百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	1,317	1,224	△93
純資産（百万円）	1,019	928	△90
自己資本比率（％）	77.4	75.8	△1.5

## ①資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,224百万円となり、前連結会計年度末と比べて93百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少143百万円、売掛金の増加6百万円、前払費用の増加13百万円、投資有価証券の増加28百万円等であります。

## ②負債の状況

負債は296百万円となり、前連結会計年度末と比べて2百万円減少しました。その内訳は買掛金の減少5百万円、未払金の増加17百万円、長期借入金の減少18百万円等であります。

## ③純資産の状況

純資産は928百万円となり、前連結会計年度末と比べて90百万円減少しました。その内訳は四半期純損失の計上116百万円等によるものであります。

## ④その他の状況

自己資本比率は75.8％（前連結会計年度末は77.4％）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月10日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関しては、該当事項はありません。

記載すべき重要な簡便な会計処理の適用についても、該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。

当該重要事象等を解消するために、当社グループは、創薬支援事業においては更に拡販に努めることで売上の上積みを図るとともに、創薬事業においては研究開発をさらに推し進め、新薬候補化合物を製薬企業等に導出することで契約一時金等の収入を獲得してまいります。さらに、研究開発の効率化及び諸経費の節減等により販売費及び一般管理費の圧縮に継続的に取り組んでまいります。

以上により、早期の全社業績の黒字化を達成し、当該重要事象等が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

なお、当社グループは事業活動を継続するための十分な手元資金を保有しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701,634	557,844
売掛金	72,330	78,512
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	93,506	90,664
仕掛品	1,845	3,968
原材料及び貯蔵品	9,882	8,773
その他	43,962	58,149
貸倒引当金	△28	△31
流動資産合計	1,123,134	997,882
固定資産		
有形固定資産	55,011	61,610
無形固定資産	13,550	11,906
投資その他の資産		
投資有価証券	102,710	130,778
その他	23,201	22,362
投資その他の資産合計	125,912	153,141
固定資産合計	194,474	226,658
資産合計	1,317,608	1,224,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,223	2,200
1年内返済予定の長期借入金	69,216	70,216
未払金	25,907	43,541
未払法人税等	5,318	2,111
その他	29,143	29,818
流動負債合計	136,808	147,886
固定負債		
長期借入金	134,140	115,836
繰延税金負債	4,213	9,177
資産除去債務	23,262	23,377
固定負債合計	161,615	148,391
負債合計	298,423	296,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,125,632	2,125,632
資本剰余金	673,100	673,100
利益剰余金	△1,757,026	△1,874,002
株主資本合計	1,041,705	924,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,680	9,272
為替換算調整勘定	△8,841	△5,739
その他の包括利益累計額合計	△22,521	3,532
純資産合計	1,019,184	928,262
負債純資産合計	1,317,608	1,224,540

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	158,225	127,346
売上原価	43,214	55,269
売上総利益	115,011	72,076
販売費及び一般管理費	180,433	187,120
営業損失(△)	△65,422	△115,043
営業外収益		
受取利息	158	173
為替差益	560	1,143
その他	966	519
営業外収益合計	1,686	1,836
営業外費用		
支払利息	792	791
その他	76	203
営業外費用合計	869	995
経常損失(△)	△64,605	△114,201
特別損失		
固定資産除却損	—	148
減損損失	268	2,118
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,243	—
特別損失合計	10,511	2,266
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,116	△116,468
法人税、住民税及び事業税	586	586
法人税等調整額	5,008	△78
法人税等合計	5,594	507
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80,711	△116,976
四半期純損失(△)	△80,711	△116,976

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80,711	△116,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,562	22,952
為替換算調整勘定	424	3,101
その他の包括利益合計	△1,137	26,053
四半期包括利益	△81,848	△90,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,848	△90,922

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	151,025	7,200	158,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	151,025	7,200	158,225
セグメント利益又は損失(△)	38,265	△103,687	△65,422

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	127,346	—	127,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	127,346	—	127,346
セグメント利益又は損失(△)	509	△115,553	△115,043

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。